



明日の象徴

— 健やかな日本の明日を築く若い世代のイノベーション追求を称える —

平成 26 年 5 月吉日

第 3 回 「明日の象徴」候補者推薦のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私たちは皆様のご支援のおかげで、昨年 2 回目となった「明日の象徴」にて、国内外で活躍する卓抜した若者たちを見いだすことができました。「明日の象徴」は 35 歳以下の研究者、医師、その他医療分野で働く若者の功績を称えるものです。将来公衆衛生の向上に大きく貢献する可能性を秘めた活動も含みます。このような若者達は、まさに日本の輝かしい未来であり、日本の伝統である創造的、革新的、献身的な努力を継承する人たちです。

そこで、皆様より候補者を推薦頂きたくここにお願いを申し上げます。選考は共催、後援団体から独立した審査委員会によって厳正に行われます。また、諮問委員会には本賞のあり方についてご意見をいただいております。顕彰の概要、審査委員、諮問委員の名簿は同封の文書をご覧下さい。

「明日の象徴」は、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本病院会、世界の大手製薬会社のサノフィ株式会社が共催しています。後援は公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本看護協会、福祉自治体ユニットです。またこれまで総務省、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省に授賞式を後援いただきました。

顕彰部門は以下の通りです。

- 「研究者部門」 医学、ライフサイエンス分野における基礎、臨床、公衆衛生に従事する研究者
- 「医師部門」 専門医、プライマリーケア、地域医療、公衆衛生に従事する医師を含む
- 「社会政策部門」 医療経済、医療政策を含む社会政策分野における研究者
- 「看護、保健部門」 看護職、助産婦、セラピストを含む
- 「NGO、ボランティア部門」 医療、ヘルスケアの分野で新たな領域を開拓している団体（NPO も含む）、個人
- 「ヘルスケア基盤部門」 上記分野以外であらゆる医療、ヘルスケアに関連する業種の従事者。例えば薬剤師、医療 IT、病院経営、医療機器、インフォマティクス、起業家など

授賞式・祝宴は平成 26 年 10 月 8 日（水）、パレスホテル東京にて、日本の各界を代表する方々を約 500 名お招きして執り行われます。当日は受賞者に加え、その推薦者の方もゲストとしてお招き致します。受賞者にはその功績を称え記念杯が贈られ、受賞者が帰属する組織に 100 万円が贈呈されます。昨年、受賞者の皆さんには、御所にて天皇皇后両陛下に拝謁の榮を賜わりました。

日本、世界の公衆衛生、福祉向上に対する功績を称える本賞の趣旨にご賛同いただき、日本の将来を担う若者達をご推薦いただきますよう、お願ひ申し上げます。二人以上ご推薦いただいても結構です。締め切りは平成 26 年 7 月 11 日（金）となっております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

公益社団法人全日本病院協会 会長 西澤 寛俊
一般社団法人日本病院会 会長 堀 常雄
サノフィ株式会社 代表取締役社長 ジェズ・モールティング

顕彰部門

- 研究者部門
医学、ライフサイエンス分野における基礎、臨床、公衆衛生に従事する研究者
- 医師部門
専門医、プライマリーケア、地域医療、公衆衛生に従事する医師を含む
- 社会政策部門
医療経済、医療政策を含む社会政策分野における研究者
- 看護・保健部門
看護職、助産婦、セラピストなどを含む
- NGO・ボランティア部門
医療、ヘルスケアの分野で新たな領域を開拓している団体（NPOを含む）、個人
- ヘルスケア基盤部門
上記分野以外であらゆる医療、ヘルスケアに関連する業種の従事者。例えば薬剤師、医療IT、病院経営、インフォマティクス、医療機器、起業家など

対象

35歳（2014年1月1日現在）以下の方で、上記部門における活動が革新的で現状を飛躍的に改善するものであること、あるいはその可能性を秘めていること。

正賞・副賞

受賞者には記念杯と受賞者が帰属する組織に100万円が贈呈されます。

募集要綱

- 【応募形式】 他者推薦
- 【応募締切】 2014年7月11日（金）
- 【応募方法】 E-mail、もしくはFAX送信（出来る限りデータでご応募願います）
＊推薦用紙をホームページ <http://www.ashitanoshcho.com> よりダウンロード、または事務局（info@ashitanoshcho.com）にお問合せの上、データでお送りいただくか、FAX（03-5427-7310）にてご送付下さい。
- 【受賞者発表】 選考結果は8月上旬、郵送にて通知
- 【授賞式・祝宴】 2014年10月8日（水）パレスホテル東京にて開催予定